

まちだ市民大学HATS

まちだの水とみどり入門 公開講座 「鶴見川流域治水と町田の緑」

町田市には鶴見川の源流があります。上流域の豊かな緑は、下流を洪水から守るすぐれた保水力をもっています。豪雨氾濫の被害を防いでいる町田の緑について一緒に考えてみませんか？

対 象 どなたでも受講できます。
※先着40名
(この講座は、5月2日から募集をしています。
すでに定員に達していた場合はご容赦ください。)

日 時 5月27日(土) 午前10時
会 場 町田市生涯学習センター 7階ホール
(町田市原町田6-8-1)

講 師 慶應義塾大学名誉教授 岸 由二氏

参 加 費 無料

申し込み 5月23日(火)までに、電話で町田市イベント
ダイヤル(042-724-5656)へ。
※受付時間 午前7時～午後7時
※町田市のイベント申込システム「イベシス」での申込も可(イベントコード230509C)



問 い 合 せ

町田市生涯学習センター

〒194-0013 町田市原町田6-8-1 TEL 042-728-0071 FAX 042-728-0073
休館日 毎月第4月曜日(祝日の場合は翌日) および年末年始(12月29日～1月3日)

編集後記

5月、夏の始まりの季節。ひと雨ごとに山の緑が色濃くなる季節。五月晴れの青空を思うぞんぶん楽しめる季節。国際交流センターのボランティアも忙しくなる季節。

今年も外国語部会の教室が始まりました。初めて習う言語に挑戦する方も多く見受けられます。教室には何年も通っている熱心な方もおり、クラスでの授業のレベルをどの程度に持っていくか、それぞれのコーディネーターが頭を悩ませています。初心者も、入門レベルの授業も2、3回出席すると、周りの方のレベルが高いと感じてしまい、なんとなく違和感を感じがちです。そのため途中から欠席が多くなり、ついには、教室に来なくなる方もおられます。もしそのように授業についていけないと感じたら、コーディネーターに相談するのもよし、初めの頃はわからなくても、1年もたつと大体のことが分かってくるということを踏まえ、がんばって出席して頂きたいと思います。だれでも始めたときは初心者だったのですから。

国際 交流 ボランティア

ぼろんていえ

Volontiers!

～町田国際交流センターだより～

2023年5月
Vol.134【編集/発行】
(一財)町田市文化・国際交流財団
町田国際交流センター

インドネシア 伝統芸能 ジャワの影絵芝居ワヤンと 舞踊&ワークショップ



2月26日(日)和光大学ポプリホール鶴川で、インドネシアジャワ島の伝統文化である舞踊と影絵芝居の公演、ワークショップが行われました。とてもきれいな踊りに続き、水牛の革で作られた人形を用いた影絵芝居ワヤン・クリがガムランの生演奏付きで上演されました。美しい色と細工を施した人形を白い幕(クリル)の前で操作しながらのスミールのスミヤントさんの流暢な日本語での語りがとてもわかりやすく、インドネシアの昔話も楽しく鑑賞することができました。クリルの後ろ側では幻想的な影絵を堪能することもできました。

公演の後のワークショップは、簡単な人形を作りました。早川純子先生がウサギや犬などの形を準備されており、それに動く腕をつけたり、各自工夫を凝らした色や飾りを貼り付けたりしました。出来上がった自分だけの人形をクリルの前で自分で動かしてみる経験では、どの子どもも一様に興奮し、一生懸命自分の人形を動かしていました。素晴らしい光景でした。自分で作った人形を持ち帰り、家でも影絵を試し、インドネシアの話をしてもらえたらいいなと感じました。

地域日本語コーディネーター 荒明 美奈子



ぼろんていえ

Volontiers! の由来：誘われたとき、頼まれたとき「喜んで！」と笑顔で応えるフランス語

町田国際交流センターではボランティアを中心に、日本にいる外国の方を支援したり、コミュニケーションの活性化をはかるなど、様々な活動を行っています。

国際交流事業やボランティアのお問い合わせは、町田国際交流センターまで

〒194-0013 東京都町田市原町田4-9-8 町田市民フォーラム4F
TEL 042(722)4260 FAX 042(722)5330
https://www.machida-kokusai.jp
E-mail:info@machida-kokusai.jp



南アフリカ講演会と アフリカンダンス

町田市は南アフリカとインドネシアのホストタウンです。

1月29日(日)に南アフリカの講演会を開催しました。南アフリカに関心を持っている方が多いようです。

第一部：「ネルソン・マンデラ氏の生きた道」

津山直子氏に映像をまじえてご紹介いただきました。津山氏はネルソン・マンデラ氏初来日時同行通訳をされた方で、今年はネルソン・マンデラ氏没後10年になります。特に「戦争は憎しみの連鎖を生む」「寛容な精神」の言葉に改めて感銘を受けました。(津山氏は元南アフリカANC専門員、(NPO法人)アフリカ日本協議会副代表です)

第二部：アフリカンダンス

アジマンJulia氏takumi氏ダンスユニット「BURN」によるダンスの説明とリズムカルなアマピアノ、アフロビーツを踊って下さいました。アフリカの人々にはダンスは生活の一部ともなっています。アフリカにルーツを持つ可愛いアフリカンキッズクラブと会場にいる皆さんとのワンポイントレッスンも、楽しい時間でした。

主催者(一財)町田市文化・国際交流財団理事長 高橋 豊様にご挨拶を賜りました。

会場ではアフリカンスクエアによるチョコレート、紅茶、コーヒーのご紹介もあり、気軽に参加できました。

国際理解・協力部会 山口 美知子



まちだdeトークプラザ ～日本で働く外国人～に 参加しました！

2月12日(日)町田市生涯学習センターと町田国際交流センターの共催事業である「まちだdeトークプラザ～日本で働く外国人～」に参加しました。

第一部：山下氏とギタリストの中程氏によるキーボード演奏です。

第二部：ペルー共和国、ミャンマー共和国、アメリカ合衆国、中華人民共和国出身の4名の方からお話をうかがいました。

第三部：パネリストの方が4つのグループに分かれ、来場者の方と一緒に交流をしました。来場者の方から質問も多く、貴重な経験をすることができました。

国際理解・協力部会 森本 愛理



子ども教室 お楽しみ会

3月11日(土)に、学習室でお楽しみ会を開催しました。子ども教室としては、2019年3月以来です。内容は、子どもたち一人ひとりの発表、二胡サークルによる演奏と体験や学生ボランティアの企画によるゲームです。子どもたちは、ほぼ全員が絵を描くか何か作るかして、それを見せながらそのものについて説明しました。二胡の体験では、初めは二の足を踏んでいた子どもたちも次々手が上がり、結局全員が体験しました。それから、3チームに分かれての「チャレンジゲーム」に挑戦しました。これは、レベル1～4の問題を持っている出題者が15人いて、子どもたちはカードを持って、問題に挑戦し、クリアしたらスタンプかシールをもらいました。自分が全部できたら、自チームのメンバーをヘルプし、チーム全員のクリアを目指すというものです。最後に、学生ボランティアによるサクソフォーン演奏と「幸せなら手をたたこう」の全員合唱で終わりました。

この日は、日ごろオンラインで参加しているプレスクールからの参加が1家族、見学にも2家族あり、ボランティア26名を合わせて、総勢56名の参加でした。これほど大勢を前にして話すのは結構勇気のいるものだと思いますが、子どもたちはよく頑張りました。それが何よりの成果ですし、集団で活動することの利点だと思います。また、ボランティアのチームワークの良さもこの教室の宝です。

子ども教室部会 佐藤 弘子



小学校入学前準備説明会

3月4日(土)に外国人の子どもと家族のための小学校入学準備説明会を開催しました。参加者は4か国、6家族。日本の学校の基本的なきまりや入学までの準備について、英語と中国語に翻訳したプリントをお渡しし、話は相談部会の方などに2か国語に通訳していただきながらお伝えしました。

内容はより具体的に、手さげ袋や筆箱、連絡帳などの実物を用意したり、外国籍の現小学生のお母さん2人に保護者としての体験談やアドバイスを話しに来ていただいたりしました。「困ったときは周りの日本人に相談すれば助けてくれる」という先輩保護者のコメントには、皆さん安心した表情を浮かべていました。

1時間ほどの説明会の間、内容の1つ1つに、皆さん熱心に和やかに耳を傾けてくださり、紹介した動画や日本語教材のサイトにすぐにアクセスしてみる方もいました。質疑応答の時間には、学童保育やPTAなどについて質問がありましたので、その場のスタッフでできる限りの対応をしました。

自国とは異なる日本の学校環境に我が子を送り込む保護者の不安は相当なものだと思います。それらを少しでも払拭して、保護者だけでなく子どもの気持ちの安定の一助となるよう、今後もこのような説明会を開催していけたらと思います。

子ども教室部会 村田 淳子

